

氏名	当 山 雄 紀
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	甲 第 194 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和41年 3 月31日
学 位 授 与 の 要 件	医学研究科外科系産科婦人科学専攻 (学位規則第 5 条第 1 項該当)
学 位 論 文 題 目	Studies on the Function of Reticulo-Endothelial System (網内系機能に関する研究) 第 1 編 Effects of the RES Blocking with India Ink on the Haematopoiesis and the Production of Serum Antibody (実験的網内系障害による造血及び血清抗体産生能に与える影響について) 第 2 編 Effects of the RES Blocking with Macro-Molecular PVP on the Lymphoid Cell Reproduction and the Production of Serum Antibody (実験的網内系障害淋巴性造血及び血清抗体産生能に与える影響について)
論 文 審 査 委 員	教授 橋 本 清 教授 妹尾左知丸 教授 浜 本 英 次

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

1925年Aschoff が網内系の概念を発表して以来詳細な形態学的研究がなされているにも拘らずその機能に関しては僅かに異物喰食機序や鉄代謝との関係が明らかにされているに過ぎない。著者は墨粒及び高分子PVPを家兎に投与してRES blocking がどの程度まで可能であるかを追求すると共に、造血及び抗体産生能の変化を観察し、RESの機能を総合的に把握しようと試みた。その結果

1. 墨粒の大量投与に依って肝、脾、骨髓のRE cell が強く反応し喰食能自体は決して低下せしめ得ないが大球性高色素性の著明な貧血が起り、骨髓RE cellの障害に依って赤芽球系母細胞のdivision arrest が惹起されることを明らかにした。
2. 高分子PVPの肝、骨髓のRE cell への取り込みは軽度であるが、淋巴組織のRE cell 特に胚中心のRE cell が大量にPVPを取り込み、淋巴球生成が強く抑制される事を証明した。
3. 網内系 blocking の状態でも血清抗体産生能は障害されずRE cell 及び淋巴球は形質細胞産生に何等関与していないものと考えられる。

論文審査の結果の要旨

当山雄紀提出の「Studies on the function of RES」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は、次の通りである。

網内系細胞から血液細胞並に免疫抗体産生細胞の分化に対する information が出されるという当山の論説の根拠を種々の実験的結果を提示して説明, phagocytosisに依る網内系細胞の機能の障害効果に就ても述べられている。

以上の通り本論文は新しい知見に富み, 学術上有益であり, 著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。